

会計名			市民講座開設事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		富士松市民センター		
款	項	目					担当係		富士松市民センター		
10	5	8									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習・青少年育成								
		施策の内容	学習機会の充実								
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。				主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期と後期に分けて約3か月間で開設し、市民が気軽に学習活動に参加できる場を提供する。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市生涯学習推進計画								
		根拠法令	社会教育法								
	対象者	市内在住・在勤又は在学の人				事業期間	～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 72人		・市民講座開設数 3講座 ・市民講座受講者数 35人 ※後期3講座は、大規模改造工事のため未実施		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 78人		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 97人					
成果		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資するとともに、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。									
課題		市民講座修了後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
成果指標		市民講座受講者数（人）				72	35	78	97	100	
指標											
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		411	212	421	455	合計 421,426 円				
	財源	特定財源	41	19	35	46	報償費 260,000 円				
		一般財源	370	193	386	409	需用費 101,374 円				
	職員人件費 ②		2,302	1,195	4,134	4,233	役務費 28,172 円				
	総事業費（①+②）		2,713	1,407	4,555	4,688	使用料及び賃借料 31,880 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		講座受講料					
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			市民講座開設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	富士松市民センター
款	項	目		担当係	富士松市民センター
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために市の関与は必要である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加促進に寄与している。
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	引き続き各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。				

会計名			学習発表会実施事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		富士松市民センター	
款	項	目					担当係		富士松市民センター	
10	5	8								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	生涯学習・青少年育成					
		施策の内容	学習活動の支援					
	目的	富士松市民センターの利用団体が日頃の学習成果を発表・展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会等を年1回、富士松市民センター全館で実施する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画					
		根拠法令	社会教育法					
	対象者		富士松市民センター利用団体及び地域住民		事業期間	平成2年度～		
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	2月18日（日） ・参加団体数 16団体 ・参加者数 137人 ・入場者数 363人		※大規模改造工事のため未実施		2月15日（日） ・参加団体数 16団体 ・参加者数 138人 ・入場者数 297人		2月21日（日） ・参加団体数 16団体 ・参加者数 140人 ・入場者数 360人		
	成果	学習発表会を開催し、生涯学習意欲の向上や団体間の交流促進のほか、地域住民との親睦を深めることができた。							
	課題	多世代にわたって参加してもらえるような工夫が必要である。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	参加団体数（団体）			16	—	16	16	20
	成果指標	来館者数【参加者数＋入場者数】（人）			363	—	435	500	700
	他市との比較検証	近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。							

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		344	0	347	355	合計	347,286 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	319,986 円	
		一般財源	344	0	347	355	使用料及び賃借料	27,300 円	
	職員人件費 ②		3,453	0	0	0			
	総事業費（①＋②）		3,797	0	347	355			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0					
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			学習発表会実施事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	富士松市民センター
款	項	目		担当係	富士松市民センター
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	富士松市民センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	富士松市民センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	学習成果の発表の場の提供など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	引き続き、学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。				

会計名			施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	富士松市民センター		
款	項	目					担当係	富士松市民センター		
10	5	8								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	生涯学習施設（富士松市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。				主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例							
		対象者	市民		事業期間		昭和59年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・富士松公民館利用者数 16,019人 ・施設利用率 28.9%		・富士松公民館利用者数 2,979人 ・施設利用率 24.2% ※大規模改造工事（令和6年7月～令和7年3月）		・富士松公民館利用者数 17,047人 ・施設利用率 19.6%		・富士松公民館利用者数 18,000人 ・施設利用率 20.0%		
成果		身近な学習施設である富士松市民センターで、年代を問わず公民館利用者が気軽に利用できるよう住民の利便を図り、生涯学習の場を提供できた。								
課題		安心・安全に利用できる環境を整えながら、さらなる施設の利用促進を図る必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		富士松公民館利用者数（人）				16,019	2,979	17,047	18,000	22,000
成果指標		施設利用率（%）				28.9	24.2	19.6	20.0	35.0
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		15,538	9,616	13,601	25,035	合計	13,601,435 円		
	財源	特定財源	1,596	626	1,252	1,268	需用費	4,201,623 円		
		一般財源	13,942	8,990	12,349	23,767	役務費	233,944 円		
	職員人件費 ②		1,535	1,195	1,654	1,693	委託料	9,115,510 円		
	総事業費（①+②）		17,073	10,811	15,255	26,728	使用料及び賃借料	50,358 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		市民センター使用料 行政財産目的外使用料				
		9年度以降の事業費見込		0						